

教科	理科	科目	生物基礎	開講学期	前期	単位数	2	試験	前期
タイプ	Ⅱ	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		13

教科書(発行者)	改訂 新編生物基礎(東京書籍)
補助教材(発行者)	生物基礎 学習書(NHK出版)

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質や能力を育成することを目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を持ち、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	生物の特徴 生物とエネルギー	第1・2回	前期
	第2回	遺伝子とそのはたらき	第3・4回	
	第3回	ヒトの体のはたらき ホルモンによる情報伝達	第5・6回	
	第4回	ヒトの体の調節 免疫とさまざまな疾患	第7・8回	
	第5回	植生と遷移	第9・10回	
	第6回	生態系と生物の多様性	第11・12・13回	